



むくの木

No.3

6月号

学校教育目標

[知] 進んでできる子・考える子
[徳] 心豊かな子
[体] たくましい子

今月の生活目標

ろう下は静かに歩きます



5月のむくの木

「なかまと協力！全カダッシュ！」

校長 佐藤 貴広

第49回運動会は、昨年以上に学校全体の一体感を体現できた運動会となりました。本校の子供たちの長所は、いつも一緒にいるクラスの仲間だけでなく、他学年の児童とも兄弟姉妹のように関係性を築いているところです。応援歌の大合唱、他学年への惜しみない応援など、物怖じすることなく声を出し合える雰囲気は本校の魅力です。1、2年生の団体種目「チェッコリ玉入れ」に合わせて、全校児童が踊りだす姿なども、本校ならではの光景です。人数は少なくても、まとまりと温かみがあって、一生懸命に競技も演技も係の仕事にも取り組んでいる本校の運動会をご覧いただいたご来賓の皆様、保護者・ご家族の皆様には、きっと、子供たちの姿に心を動かされたのではないのでしょうか。

今年度は、前日準備にも保護者の方が手伝いに来てくださいました。閉会式後には、保護者の方の呼びかけで、多くの方が入退場門やテント、杭などの片づけを行っていただきました。重たいものを率先して運んでくださり、本当に助かりました。また、なんと、本校卒業の中学生も進んで片づけに名乗り出てくれました。史上最年少の学校応援団の登場です。母校のために進んで活動しようとする、その心に、胸が熱くなりました。開校50周年の年の運動会は、子供たちがつくったスローガン「なかまと協力！全カダッシュ！」を本校に集った全ての人で達成し、朝日のごとくさわやかな運動会となりました。皆さま、本当にありがとうございました。

今月は、6年生が社会科見学、5年生が大貫海浜学園に臨みます。これらの学習や行事は、いつもと違う環境の中で、集団での学習や生活の在り方、よりよい人間関係などについて考え、自然や文化について親しんだり学んだりすることがねらいです。その成果は点数や成績のように数字に直接表れるものではありませんし、子供たちの変化としてすぐに見いだせるものではないかもしれません。しかし、これらの活動を通して学んだことは、目には見えないけれども、大樹の下に広く深く伸びた根のように、子供たちの生きる力の土台となっていくはずです。子供たちが校外学習や行事に臨むにあたっては、保護者や地域の方のご理解とご協力がなければ成り立ちません。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。